

下水道事業

平成30年度業務の状況を公表

【事業の概要】

市民の皆さまが快適で文化的な生活を営むための基盤である下水道の整備および適正な維持管理に努めました。

主な事業として、施設の長寿命化や地震対策に取り組みました。

【経理の状況】

収入は20億4,129万円で前年度に比べ3,676万円の減となり、支出は20億2,880万円で、前年度に比べ3,694万円の減となりました。

平成30年度決算は、1,249万円の純利益となりました。

【借入金の状況】

年度末の借入金(地方債)残高は138億5,904万円で、前年度に比べ6億929万円の減となりました。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



総務課 ☎・☎(582)1136 ☎(582)5780

水道事業

平成30年度業務の状況を公表

【事業の概要】

「安全、安心、安定」供給を第一に、運営に努めました。

主な事業として、管路の耐震化工事や水源地などの設備の更新工事に取り組みました。

【経理の状況】

収入は15億277万円で、前年度に比べ610万円の減となり、支出は14億41万円で、前年度に比べ4,833万円の減となりました。

平成30年度決算は、1億236万円の純利益となりました。

【借入金の状況】

年度末の借入金(地方債)残高は36億3,115万円で、前年度に比べ1億3,080万円の減となりました。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



パブリックコメントの実施と市民説明会の開催

都市計画課 ☎・☎(582)1132 ☎(582)6947 ✉toshikeikaku@city.moriyama.lg.jp

◇対象となる計画：守山市景観計画(案)

景観計画は、景観行政団体が景観に関するまちづくりを進める基本的な計画として、景観法に基づき景観形成に関わる整備の方針・基準等を定めるものです。

前回の計画策定から約10年が経過したため、現状の課題や時代の変化に対応した見直しを行います。

より良い計画とするため、市民の皆さまのご意見と情報を募集します。また、市民説明会も開催します。

◇資料閲覧場所

都市計画課、市役所2階閲覧所、公文書館、駅前総合案内所、すこやかセンター、市立図書館、各地区会館(土、日曜日の閲覧は、駅前総合案内所、市立図書館、各地区会館のみ)

※市ホームページでも公開しています。

◇意見の提出

7月8日(月)～29日(月)に意見書(様式は自由)に住所、氏名(法人にあたっては名称および代表者の氏名)、電話番号を記載し、郵送、ファクス、メールまたは直接都市計画課まで提出してください。メールの場合は件名欄に「パブリックコメント手続きの意見提出」と入力してください。

☎・いただいたご意見や情報は、これに対する市の考え方とともに後日公表します。なお、個々のご意見や情報へ直接は回答しません。

・ご意見・情報以外の内容は、公表しません。

あて先 〒524-8585 吉身二丁目5番22号 都市計画課

市民説明会

時7月11日(木)午後7時～ 所守山会館

時7月13日(土)午後1時～ 所速野会館



◆平成30年度財政事情

もりやまの家計簿

(平成31年3月31日現在)

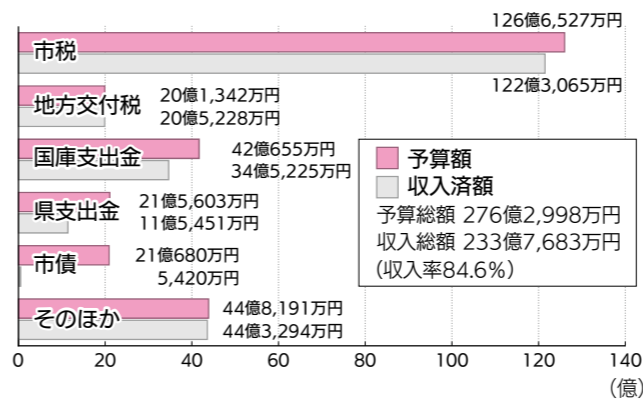
総務課 ☎(582)1114 ☎(582)0539

平成30年度の一般会計予算は、年度当初の253億円に23億2,998万円を増額補正し、総額276億2,998万円となりました。補正予算の主なものは、交流拠点施設整備事業、通学路安全対策事業に伴う経費のほか、国の補正予算を踏まえ前倒し実施を行った障害福祉施設整備事業の経費などです。なお、平成30年度の実質収支はおおむね8億9,000万円余の黒字決算となる見込みです。

一般会計収支状況

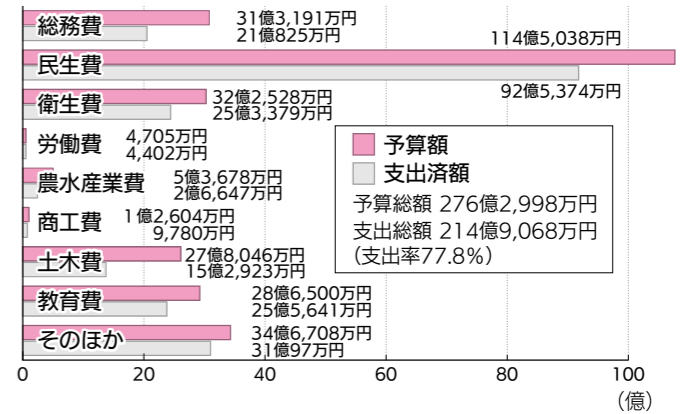
歳入

国、県の補助金や市債の多くが未収入になっていますが、決算時には翌年度に繰り越される分を除きおおむね計画どおり歳入される予定です。



歳出

国の補正予算に伴う前倒し実施事業などが翌年度に繰り越されることとなりますが、これ以外の事業につきましてはおおむね計画どおり完了し、工期などの関係で工事費などの支払いを残すのみとなっています。



※用語解説は広報もりやま4月1日号4・5頁を参照



4月1日号

財産保有状況

財産保有状況とは、本市が保有する土地や建物などの財産の状況です。

- 土地および建物 ①土地 1,337,620.85㎡ ②建物 213,095.23㎡
- 有価証券 507万円
- 出資による権利 1億5,426万円
- 債権 2,177万円
- 基金 127億1,937万円
  - ・財政調整基金 20億1,068万円
  - ・その他基金 107億869万円

地方債残高

地方債残高とは、本市の運営に必要な資金の調達のために負担する債務の残高です。

- 一般会計 270億5,369万円
- 特別会計 6億922万円

特別会計収支状況

特別会計とは、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

会計別	予算額	収入済額	支出済額	
国民健康保険特別会計	71億8,314万円	58億665万円	59億310万円	
土地取得特別会計	1億9,793万円	1,801万円	708万円	
育英奨学事業特別会計	1,100万円	1,172万円	419万円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	51億8,508万円	42億8,892万円	44億3,334万円
	介護サービス事業勘定	2,944万円	1,646万円	2,514万円
後期高齢者医療事業特別会計	8億281万円	6億4,013万円	7億4,068万円	
農業集落排水事業特別会計	2億3,005万円	4,232万円	2億1,861万円	
合計	136億3,945万円	108億2,421万円	113億3,214万円	